

委員会設置提案書

提案者（理事名） 原 和彦

| | |
|------------------------|---|
| 委員会の名称 | レジリエント照明研究調査委員会 |
| 英文表記 | Research Committee on Resilient Lighting |
| 事業部門 | 照明に関する研究・調査事業 |
| 関連常置委員会名 | 分科会運営委員会 視覚・色・光環境分科会 |
| 設置の趣旨 | 地震や津波や集中豪雨などの大規模災害時や建築火災などにおいて、電力不足の状況下で避難や救助などの活動を行うための照明要件を示した指針が存在しない。2023年1月より国際照明委員会 CIE に技術委員会 TC3-62 Resilient Lighting が立ち上がり、日本主導で取り纏めていくことになっている。本研究調査委員会は、諸外国の災害復旧状況を踏まえ、屋内外の避難経路の誘導効果を含めた照明要件や、中長期利用も含めた避難所の照明の在り方などについて、国内外の既往研究を整理し、国際基準化を目指す上での技術報告書の方向性や内容について議論する。 |
| 予測される成果 | ・国内外での大規模自然災害時の電力復旧状況、生活基盤の復興への実態などについて把握する ・災害に対応した Resilient Lighting のあり方（TC-3-62 を含む）に対して、日本としての提言をまとめる。 |
| 成果のフォローアップ （会員への還元） | ・委員会終了後に報告書を作成。 ・全国大会などでシンポジウムを開催し、活動を報告。 |
| 委員会の構成 （氏名：所属） | 委員長：秋月有紀（富山大学） 幹事：山口秀樹（国土技術政策総合研究所）、上野剛（電力中央研究所） 齊尚樹（因幡電機製作所） 委員：末崎宗久（日本照明工業会） 小林茂雄（東京都市大学）、吉澤望（東京理科大学）、明石行生（福井大学）、山田哲司（岩崎電気） 古賀靖子（九州大学）ほか 12名程度 |
| 設置期間 | 2023年4月～2026年3月 |
| 委員会開回数／年 | 4回/年程度 |
| 活動計画 | 1. 各国の災害時における電力復旧状況や避難生活等の現状把握 2. 災害時の照明要件に関する国内外既往研究調査 3. 災害時を想定した基準・照明計画の提案 |
| 経費 委員等の旅費の支給対象の有無 | ■有（理由：委員の旅費） 支給対象者名：秋月ほか大学関係者 □無 |
| 備考 | |

| | |
|--------|----------|
| 理事会の承認 | 承認 年 月 日 |
|--------|----------|